



発行：中津事務所 岐阜県中津市かやの木町2番1号
 電話：0573-66-1111(内線325) FAX：0573-65-5273
 E-mail：kyodo@city.nakatsugawa.lg.jp

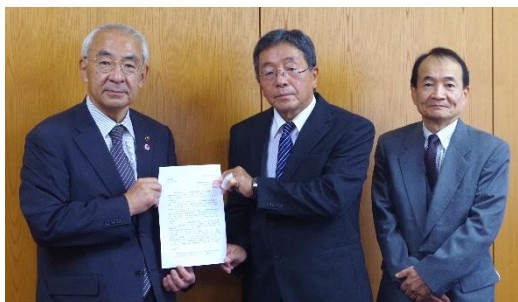
中津地区の人口・世帯(12月末)	
人口計	25,960人
人口(男)	12,694人
人口(女)	13,266人
世帯数	11,172世帯

こんにちは。中津川市役所 中津事務所（市民協働課）です。
 地域版広報紙「なかつ地区」令和3年2月号の発行です。
 今回も3地区（西・南・東地区）から厳選した「地域情報」を
 お寄せいただきました。
 ご意見や感想などございましたら上記宛に書面にてお寄せください。

中津地区の活動情報・お知らせ等

●より良いまちづくりに向けて

今年度、市政懇談会は新型コロナウイルス感染症対策のために中止となりましたが、各区長を対象に、市が地域の状況等を把握するためのアンケート調査が行われました。これに加え、中津西地区と中津南地区では、各地区のまちづくりについての要望を行いました。



西地区区長会長から、協働のまちづくりや
 リニア関連事業の推進、安全に暮らすことが
 できる環境の整備などを盛り込んだ要望書を
 青山市長へ提出しました。

●地球温暖化について、一緒に考えてみませんか？

今年度、区長会連合会では世界的な問題である地球温暖化について、その防止のために何かできることはないかと、勉強会や意見交換、市内施設の視察を行ってきました。その中で、地球温暖化防止のために一人ひとりができることを皆さんに周知をする取り組みを行うことにしました。

取り組みの第一歩として、市内の各地区で地球温暖化についての出前講座を順次開催しています。



11月4日に中津東地区で行われた出前講座では、各区の区長や民生委員、主婦の方などにお集まりいただき、市環境政策課の職員から「今、知ってほしい！地球温暖化と私たちができること」と題し、クイズ等も交えながらの説明を受けました。参加された皆さんはとても真剣に学んでみえました。



今後、区長会連合会では地球温暖化対策のための標語と地区ごとに具体的な取組内容を決め、市民の皆さんに呼び掛けていきます。地球温暖化の問題について少しでも興味・関心を持っていただき、日々の生活の中でできることを一緒に取り組んでいただきたいという思いで、来年度以降も活動をしていきます。

●岐阜県自治連絡協議会会長表彰

今年度の岐阜県自治連絡協議会会長表彰を、西地区で3名の方が受賞されました。受賞者の方には、10年以上の長い間、地域の自治活動に貢献いただいています。

受賞者一覧（敬称略）

- ・北村 忠夫（現大峽区区長）
- ・西尾 徳一（現共栄区区長）右写真▶
- ・恩田 昭次（昨年度手賀野上区区長）



●歩道橋の架設を見学しました

現在整備が進む青木斧戸線では、歩道橋の架設が行われました。西小学校2年の児童がその様子を見学し、クレーンに吊られて架設される歩道橋を真剣なまなざしで見つめていました。



●コロナ禍で区民サロンは屋外開催（大平区）

「助け合う環境づくりは顔を合わせることから」をスローガンに、区民の交流の場として親子連れからお年寄りまでが集い開催される大平区サロン。新鮮野菜の販売やワンコインランチが人気です。今年度は屋外で、野菜や



惣菜の販売をし、休憩スペースも用意しました。10月25日は秋晴れの気持ちの良い天候の中、久々の開催に賑わい、多くの笑顔が見られました。

●避難所でのコロナ対策を学ぶ

西小学校を指定避難所とする6つの自治会の避難所運営委員会が、「新型コロナ対策学習会」を行いました。避難所を開設する場合に、感染リスクの軽減や感染拡大防止対策をしながら、避難者を支えるために必要な対応について学習しました。



特集

～域学連携の取組が始まりました～

高校・大学などと地域がタッグを組み、地域課題の解決に取り組む域学連携。今年度西地区では、区長会が中心になり、中京学院大学の金治ゼミとの連携で様々な活動を行っています。

●地域や食文化を知る

域学連携の取組の第一歩として、9月下旬から10月にかけて、地域めぐりと五平餅交流会を行いました。津島神社や星ヶ見公園など西地区の名所を回ったり、市の名物である五平餅を実際に食べてもらったりと、今まで地域に触れる機会がなかった学生に、地域の魅力を伝え、興味を持ってもらうことができました。

▼リニア関連工事の説明を受ける



▲五平餅交流会の様子

●地域課題について考える

12月8日、地域の課題を知り、その課題に対して学生自身何ができるか、学生がどのように変わる必要があるのかを考えることを目的としたゼミが開催されました。金治准教授ほか経営学部3年の学生13名が“社会的孤立を防ぐ”をテーマに、手賀野「絆会」と大平区サロンの事例、第5区サロンの計画について説明を受けた後、西地区の皆さん、西地区社協、在宅介護支援センター、市高齢支援課や市民協働課と意見交換を行いました。



学生からは、「様々な目線から地域を見ていることがわかった。」、「高齢者と子どもとの関わりを増やせていけたらと思う。」、「地域サロンには、学生の協力が必要と感じた。地域と一緒にやるということであれば協力できる。」などの意見が出され、地域の方の思いを聞く中で、多くの気づきがあったようです。



●市民企画講座 「間之根でそば栽培とそば打ち体験」

10月から11月の間、そばの実落とし、唐箕（とうみ）掛け、そば打ちなど、そば栽培からそば打ちまでを体験した本講座は、参加者の皆さんに大好評でした。子どもから大人まで一緒になったの畑仕事や、家族で力を合わせて行ったそば打ちは、とても貴重な経験になったようです。

主催する桑澤宏康さんは、収穫量などのデータから検証し、来年度はより良いそばを作りたいとおっしゃっていました。来年度もたくさんの方のご参加をお待ちしています！

運営：食と世代間交流推進の会（☎66-0249）



▲打ったそばは自宅で茹で、家族でおいしくいただきました。

◀唐箕掛けの様子

●尾嶋区 自主防災の取り組み

7月豪雨で中津地区に避難勧告・避難指示が発令された時の避難行動について、8月に区民全員にアンケート調査を行いました。その結果を踏まえ、昨年度から数えて4回目となるワークショップを、10月17日に開催しました。「災害のおそろしさ」「危険信号の見つけ方」等について国土交通省より講義を受け、自身の避難行動について「いつ」「どこに」「どのように」避難するのかの意見交換を行い、「地区防災計画」策定のための課題としました。

※コロナ対策の為3つのグループに分かれ、手指消毒等を徹底して開催しました。



令和元年度の取組み（国土交通省の指導のもと）

◎土砂災害モデル地区に指定

- R1.10.31 第1回ワークショップ（防災に関する話し合い等）
- R1.12.8 第2回ワークショップ（防災まちあるき等）
- R2.2.17 第3回ワークショップ（防災に関する話し合い等）

●川上花博 2020 が開催されました

第21区主催の「川上（かおれ）花博」が、10月31日～11月3日の間、楽生館（旧川上分校）で開催されました。区民の育てた盆栽や鉢植え、手芸等の作品が会場一杯に飾られました。



会場には、子どもたち向けに列車模型やドローンの操縦体験もあり、親子連れの来場もありました。また、恵那文楽や川上分校時代の記録映像が上映され、地域の貴重な記録を垣間見ることができました。



●中村区 NMR23 栗おこわの販売が好評でした！

高齢者の生きがいづくりと地域貢献を目的に、地元産の“栗”と“もち米”にこだわった栗おこわの販売が今年度で2年目となりました。昨年度同様、マロンパーク栗園と駅前の特産館で販売を行い、「食べたら美味しかったので今年も来ました」と声をかけてくださる方に、心もほっこりしました。

今年度は11月の六斎市でも販売し、好評を博し終了



することができました。

※この活動は中津川市ががんばる地域サポート事業の助成を受けています。

●四ツ目川クリーンパートナー事業



10月24日に行われた四ツ目川の環境整備は、多くの方に参加をいただき、中洲の草刈りなどの清掃を行いました。今年度は例年より遅い実施となり、刈り取る草が多く大変でしたが、皆さんの協力のおかげで、短時間で終わることができました。

●コロナ禍に対応した避難所運営を目指して

10月4日、東小学校で地元住民や市職員などが参加し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した避難所の開設と運営の訓練を行いました。訓練では、事前受付での検温や問診、ソーシャルディ



スタンスを保つためのテントやマットなどの設置の手順の確認を行いました。

●しめ縄づくりをしました（東18区）

12月6日、旭峰秋葉神社境内で、区民が持ち寄ったわらでしめ縄をつくり、地域住民の安全と健康を願い飾り付けました。初めてのしめ縄づくりを楽しむ若い方の姿もありました。



●子ども見守り隊（第17区）



地域生活あんしん対策事業として、子ども見守り隊を組織しています。毎週火・金曜日に交代で東小学校児童の下校時の見守りを実施し、不審者対策、交通安全対策等を行っています。

●まちづくり協議会

令和3年4月設立へ急ピッチ！

住民参画による住みよいまちづくりに取り組む「まちづくり推進協議会」の設立のため、準備委員会で詰め作業を行っています。区長や関係団体等の代表者が、「総務部会」「教育文化スポーツ部会」「健康福祉部会」「防災安全部会」の4部会に分かれ、各分野で地域課題や事業について協議します。



また、議決機関である総会については、各区から代表者の出席による総代会としました。準備委員は、協議会の根幹を整備し、木の年輪のごとく年々拡充させながら、地域に根を張る大木へ成長させる思いでがんばっています。

●中部防犯協会連絡協議会会長連盟表彰受賞



第十八区地域安全めくばりたいは、結成以来15年間子どもたちの安全と成長を見守りながら、雨の日も雪の日も活動を続けてきたことが受賞につながりました。皆様からの励ましの声やりがいです。健康な限り活動を続けますので、私たちの活動も見守ってください。

●サツキを植栽しました（第16区）

11月、緑の募金の還元の一環である地域緑化推進事業を活用し、駅前通りから大明神トンネルに至る花壇に新たに60本のサツキを植栽しました。町内会長と中学生を含めた家族15人が参加してくれました。



このサツキの植栽を「はじめての一步」として、より良い16区にしたいという皆さんの思いが、小さな行動になれば…と思います。

●三者意見交換会を開催しました（第17区）

11月28日、区執行部、民生委員・児童委員、福祉推進員の三者で、区内の福祉に関する意見交換会を実施しました。コロナ禍で各委員が職責の対応に苦慮している現状が報告され、今後も区と密接な情報交換を行うことを確認し、閉会しました。



～地域に伝わるおはなし～

昔中津川宿に住んでいて、疫病の人々を救ったとされる「はだか武兵」。旭ヶ丘公園にあるはだか武兵をまつる祠（ほこら）の前には、舟形の「チンチン石」（叩くとチンチンと音がする）があり、自分の年の数だけ叩くと病気にならないと伝わっています。

